

令和6年能登半島地震における被災状況の迅速な把握

概要 要:被災状況を迅速に把握するために、国土地理院が撮影した空中写真を判読して斜面崩壊・堆積分布図及び津波到達範囲を推定した図を作成した。これらの図を関係機関へ提供するとともに、国土地理院HPから公開した。
府省庁名:国土交通省

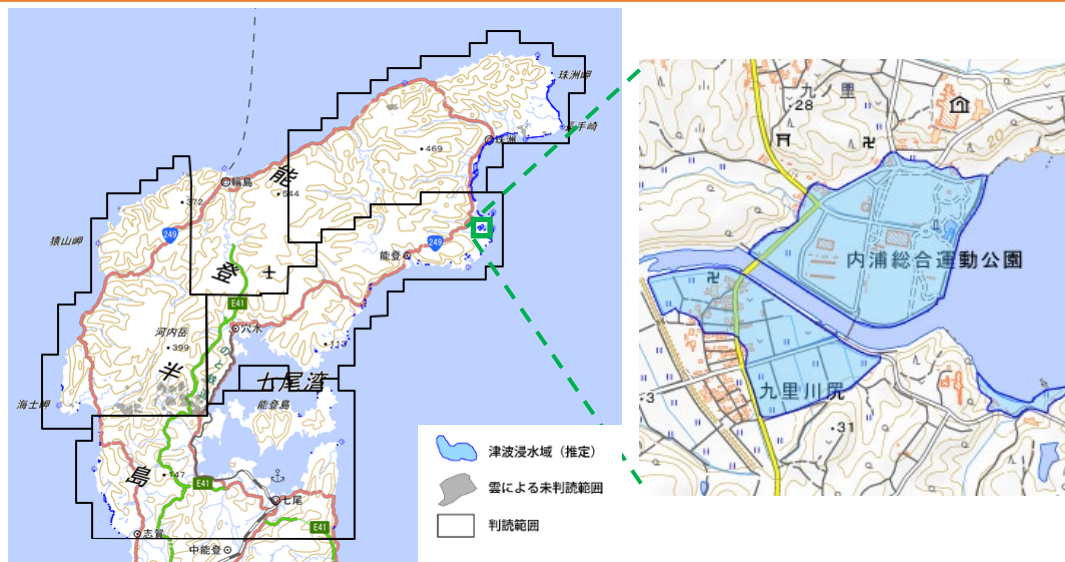
- 実施主体:国土交通省国土地理院
- 事業概要:被災状況を迅速に把握するため、空中写真の判読により斜面崩壊・堆積分布図及び津波到達範囲を推定した図を作成し、関係機関に提供するとともに国土地理院HPから公開した。
- 効果:現地災害対策本部へ提供し、自衛隊等の関係機関の災害対応に活用された。

1月3日
空中写真の入手

斜面崩壊・堆積分布図を作成
1月4日に関係機関へ提供を開始

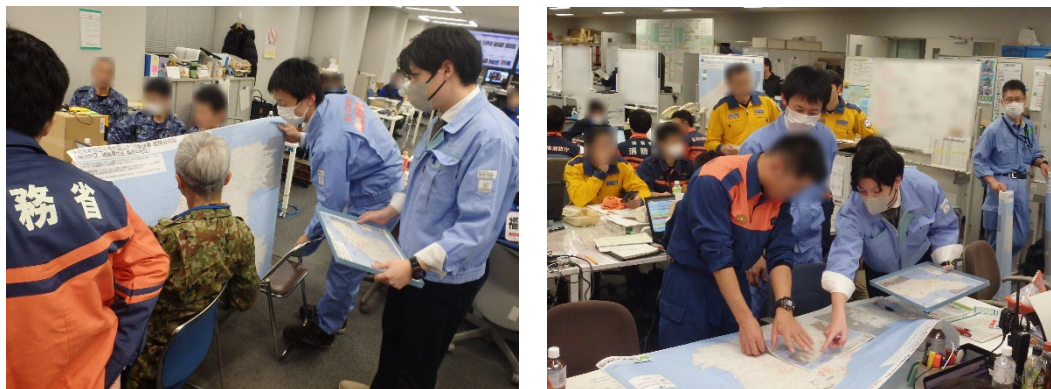


【効果】
患者等を含む人員や物資輸送のため、ヘリコプターと輸送車両の連携が容易な地域の概定に活用



津波到達範囲を推定した図を作成
1月5日に関係機関へ提供を開始

【効果】
余震に伴う津波に備えた活動を事前に計画



現地災害対策本部での様子